

成人向

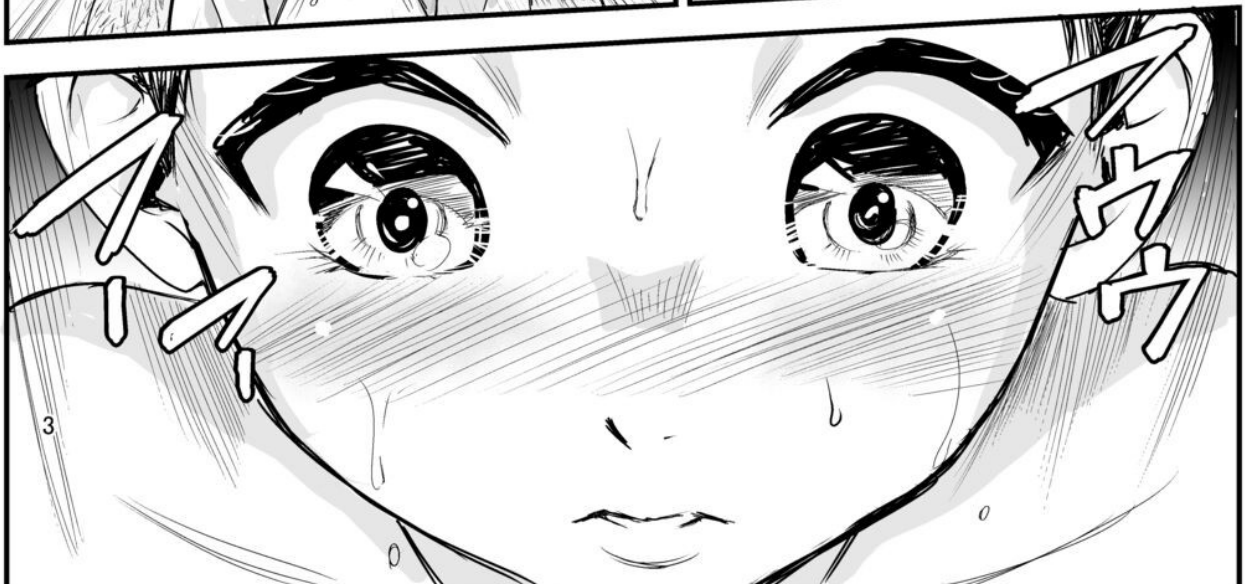
18歳未満
購入不可

艶色 がり村

「つやがりむら」

六

レイドソックス
トリッキー



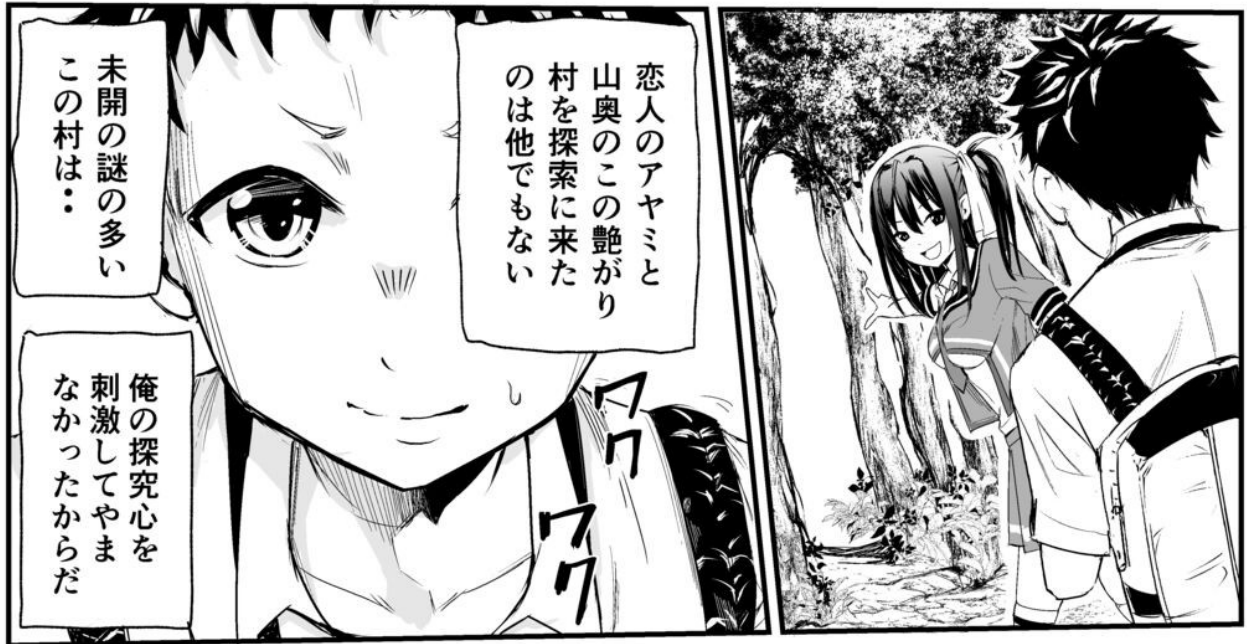


俺は桐ヶ谷直人
よく中学生に
間違われる
高校生……

それ故よく
同級生になめ
られもする……

でも探求心なら
人一倍誇れる

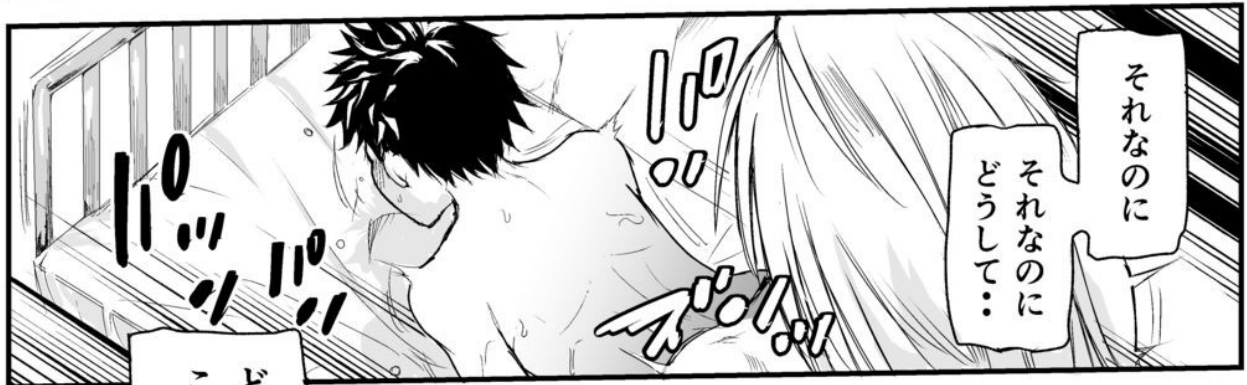
いわゆる
秘境オタクって
やつだ



恋人のアヤミと
山奥のこの艶がり
村を探索に来た
のは他でもない

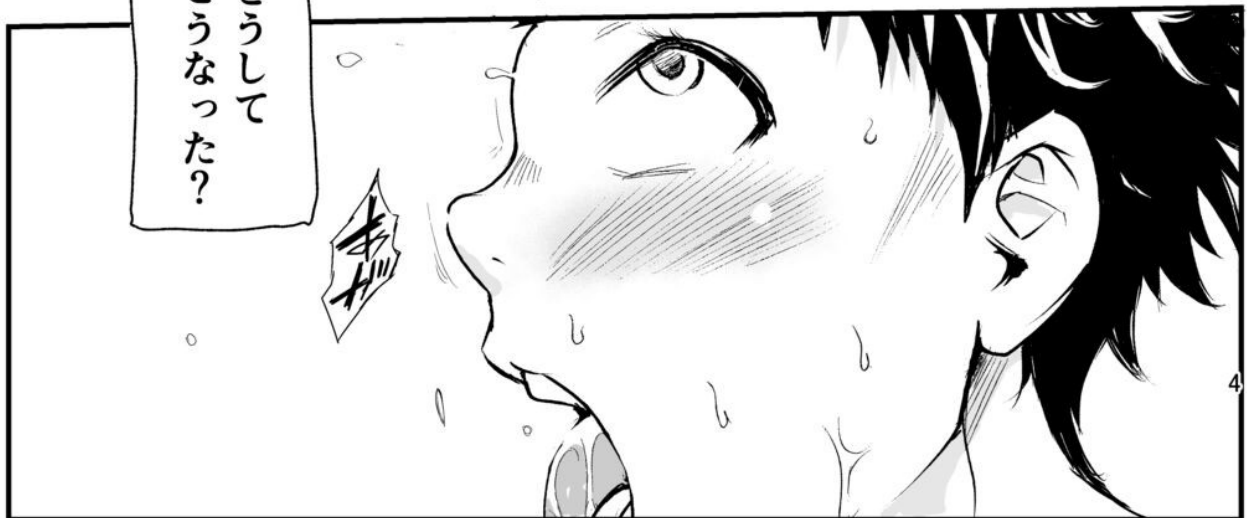
未開の謎の多い
この村は……

俺の探究心を
刺激してやま
なかつたからだ



それなのに
それなのに
どうして……

どうして
こうなった？





1週間前



俺のケツはこの薄汚いおっさんのオナホにされる毎日：
アヤミのことを考えることで理性をギリギリ保っている状況だ



こんなところに隠れてもまた奴らに捕まるぞ!!

この村の教祖はお前の身体が自当て...

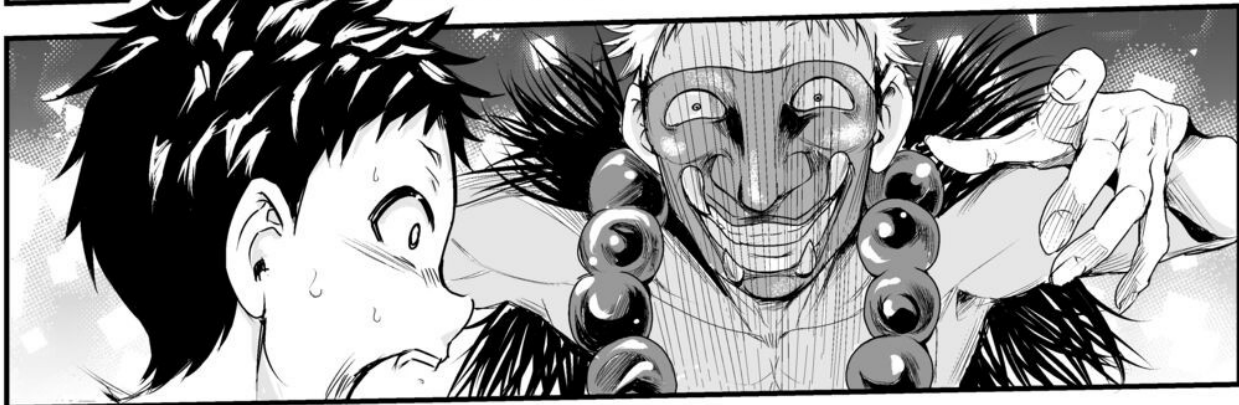


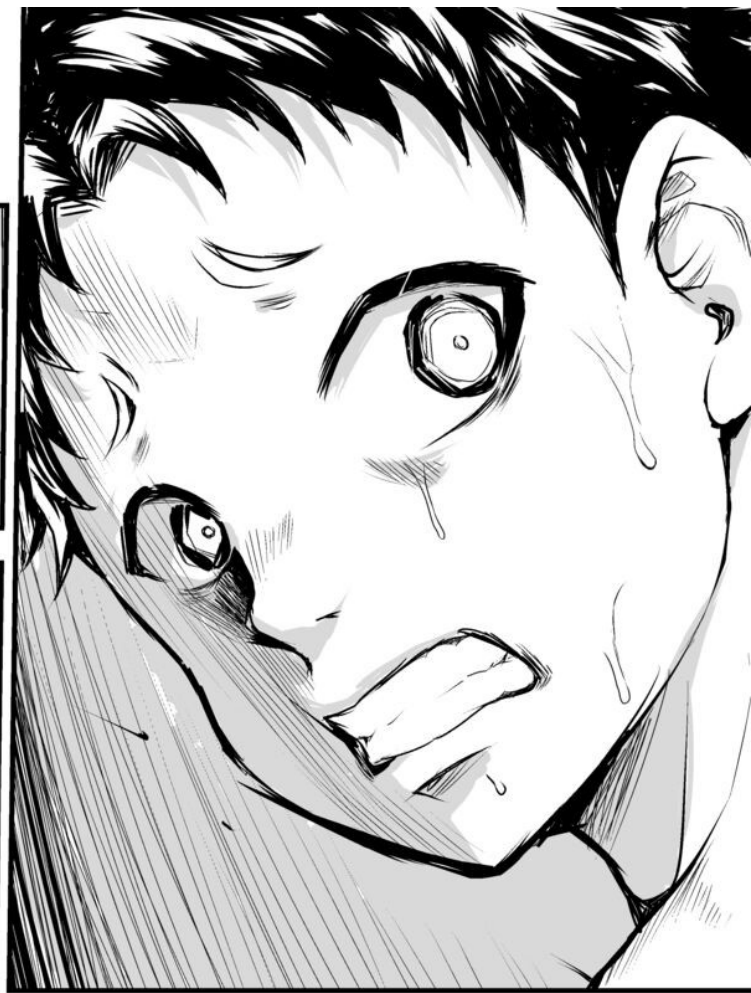
おい!

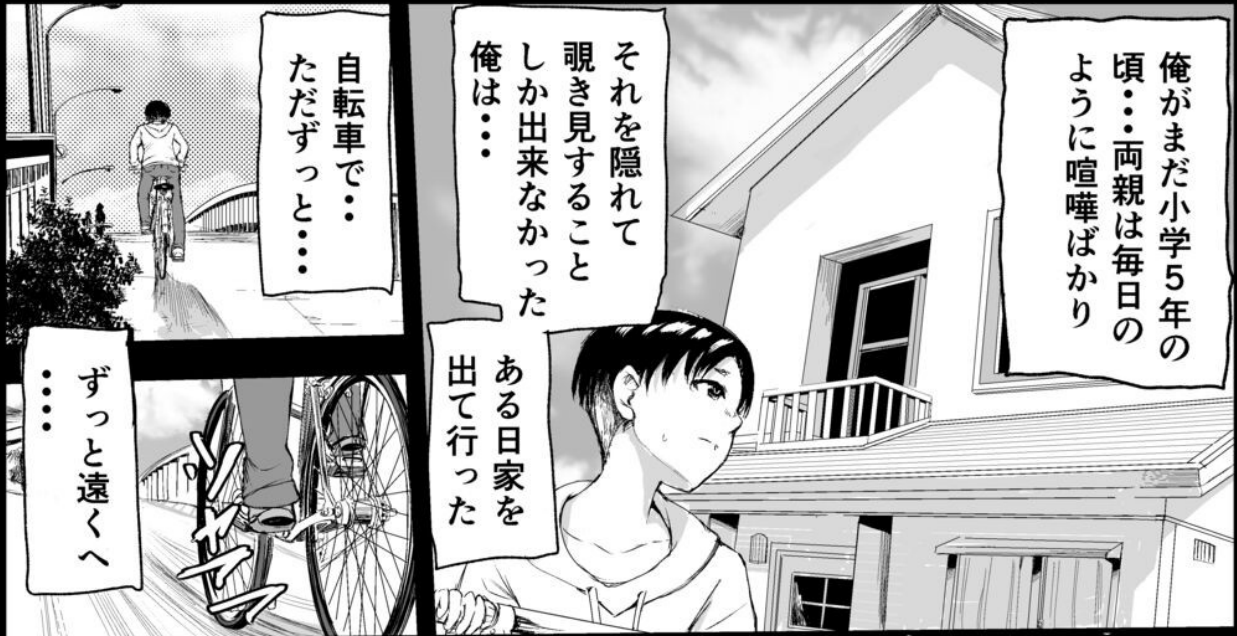


どうしたんだよアヤミ!

開けてくれ!







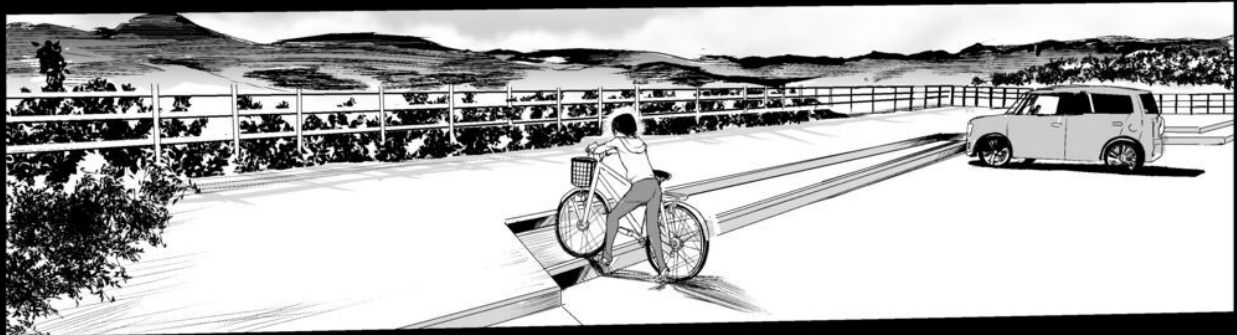
俺がまだ小学5年の頃・・・両親は毎日のように喧嘩ばかり

それを隠れて覗き見することしか出来なかった俺は・・・

自転車です・・・ただずっと・・・

ある日家を出て行った

ずっと遠くへ・・・



そこで見た景色が・・・あまりにも神秘的で雄大だった

イタヤ...



親に心配かけることで仲直りして欲しかった...

やがて心細くなって・・・

どこかの町が一望できる峠の駐車場で夜明けを迎えた時・・・



自分が空の
世界の住人に
なったかのように
.....



ササ



ササ

霧が峠を覆い
雲のように
広がっていた

その霧の流れは
圧倒的な躍動感で
谷を流れ落ちて
いく……

ササ



それからだった
秘境に対して
ロマンを抱くように
なったのは……



最高の
パートナー！

そう：だから
こそアヤミとも
仲良くなれた
俺のロマンを
リスペクト
してくれる

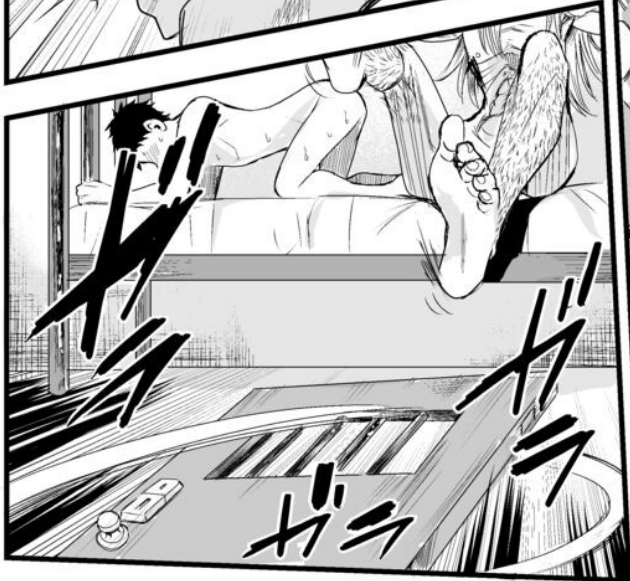
全国の秘境を
自分の目で足で
探索して焼き付け
たいと思うように
なった！



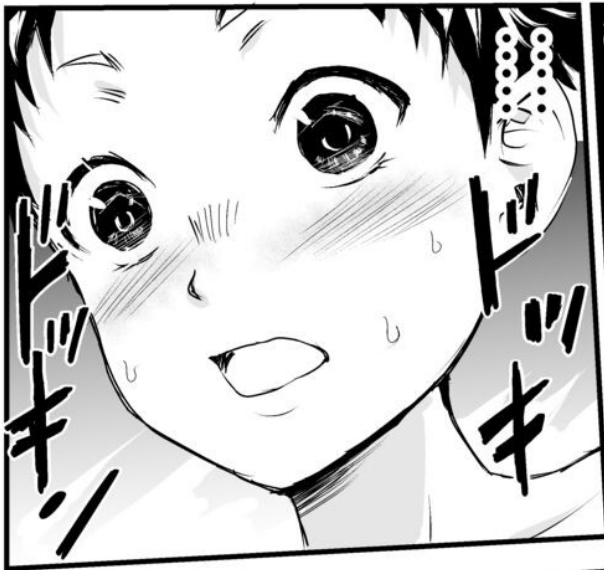
だから守りたい
んだ絶対に！
アヤミだけは

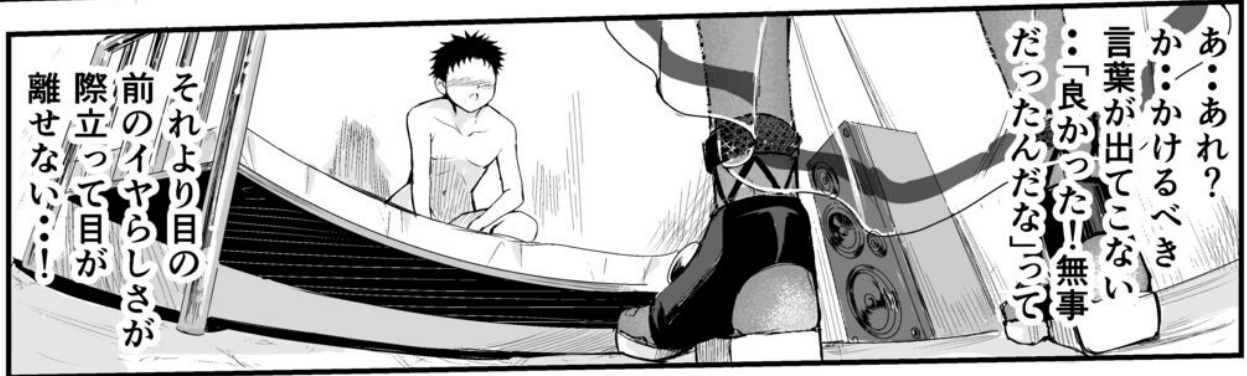
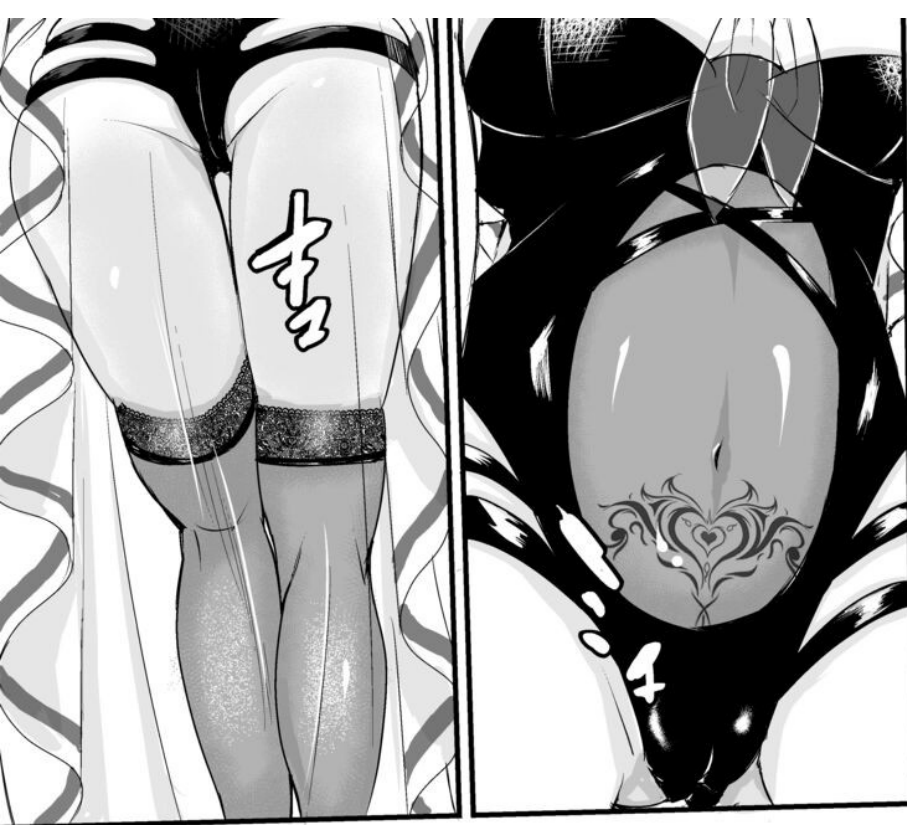
……
こんなことで
ギギ
ギギ
こんなことで
屈するものか！











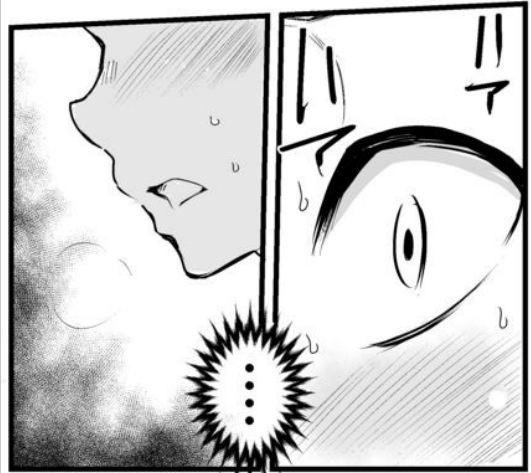
あ…あれ？
か…かけるべき
言葉が出てこない
：「良かった！無事
だったんだな」って

それより目の
前のイヤらしさが
際立って目が
離せない…!!



い…一体何が
あったんだ？
まさか…

もう完全にあの
教祖の手に堕ちて
しまったんじゃない？





え！
そんな姿じゃ
外歩けないよ？
でしょ？

ほらっ大丈夫？
ナオト...

今のうちに
脱出するよ？

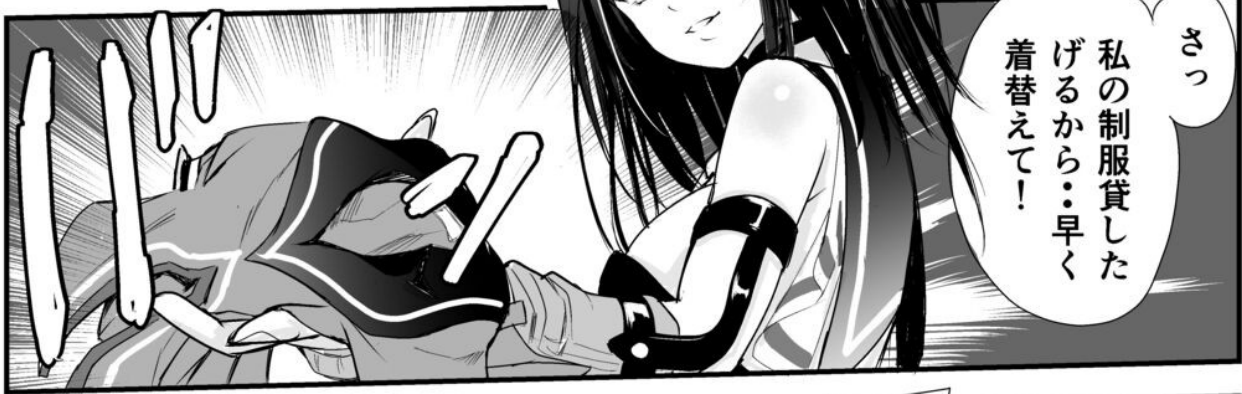
あつ！
...ああ

ドキッ

ドキ



ニヤ



さっ
私の制服貸した
げるから...早く
着替えて！



どこか含みが
あるような...

着れる
着れる！

大丈夫！私と
身長あんまり
変わらないし

いつものアヤミと
...違う？

フフ...



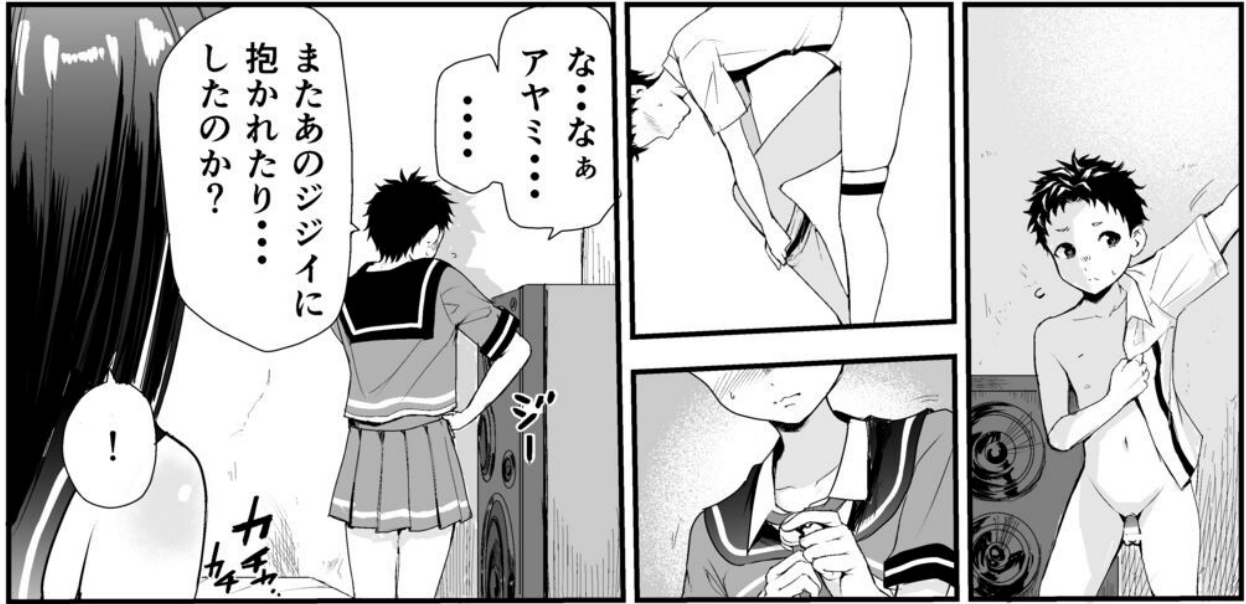
しょうがない
じゃん！
それしか取り戻せ
なかったの...
我慢して着て！

え...？
アヤミの

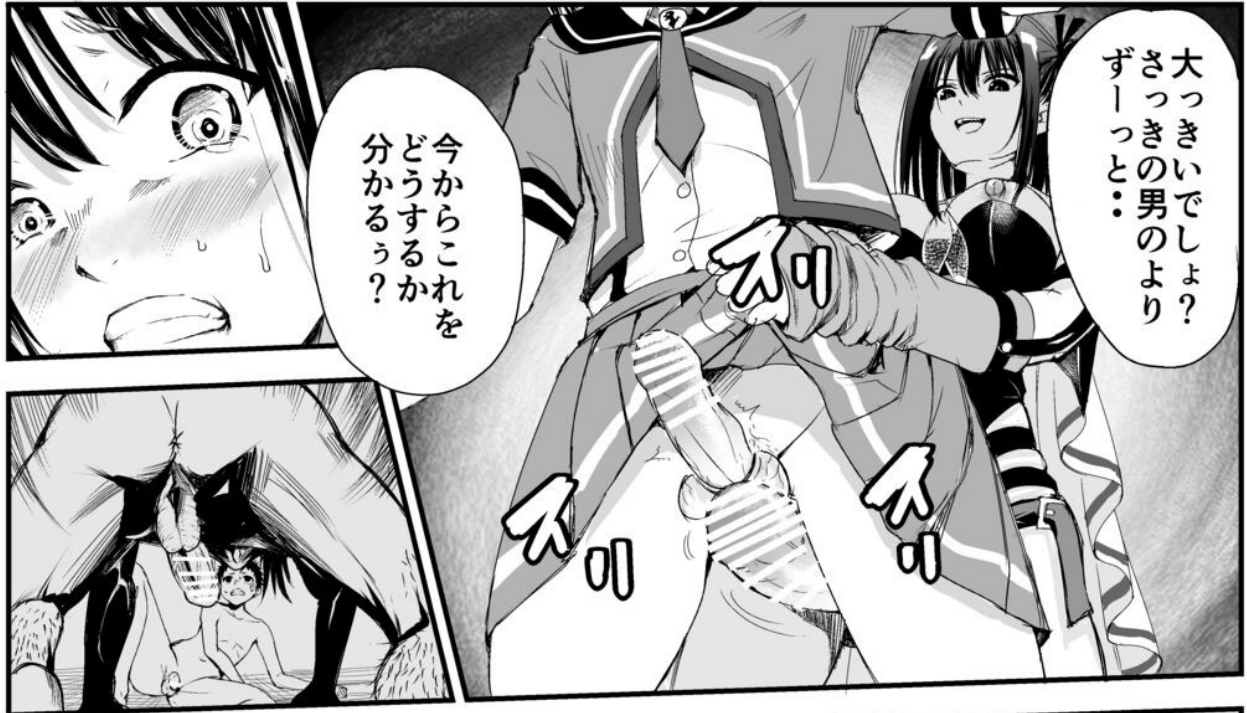


な...
なんか

あ...ああ
そう...
だな...







大っきいでしょ？
さっきの男のより
ずーっと：

今からこれを
どうするか
分かるう？



やっ：止めろ！
アヤミどうし
たんだより！

正気に戻れ！

洗脳でも
されたのか？！

んーう？



洗脳？何言っ
てるの？

私はいたって
正気だよ？



私ね：もう
教祖様以外の
男とはエッチしない
って誓ったんだ

だってこんな
包茎ヘタレ粗チン
：入れてもムカ
つくだけで何も
感じないもん！



フフツ：
ゴメンネー
ナオト：

痛かった？

あ…あが…
……ッ
ふああ



……へえ



あっ
キョキョ
キョキョ
うぐ
キョキョ
つつああ



すごい！
この一週間で
すっかり拡張
されたんだね！

ほうら

！
簡単に出し入れ
出来ちゃうよ？



は・は？



うあん

あっ



あはっ！
どうしたの
ナオト？！

口調が女の子
みたいになって
るよ？

んっ
あっ
それにその
格好
まるで私を
犯してるみたい！



ねえナオト？
私この村のこと
色々分かったん
だよ？



興奮しちゃう



昔牢に入れられた
理由とか...

この村を象徴する
景色を体験したり
...とか

...
!



教祖様が一日に
何人の女の子に
中出ししているとか



ナオトがこの村を
知る大事な情報



な…
け…景色？

そうだよ？



!!

まっ…
まさか



アヤミはそのために
教祖に近づいた？
あくまで…
俺のために!?

でもさ…その
情報はよそ者には
口外禁止なん
だって…

だからさあ
…



ナオトも…
この村の一員に
なりなよ？



だけど…その
ために払った
犠牲が…
これか？

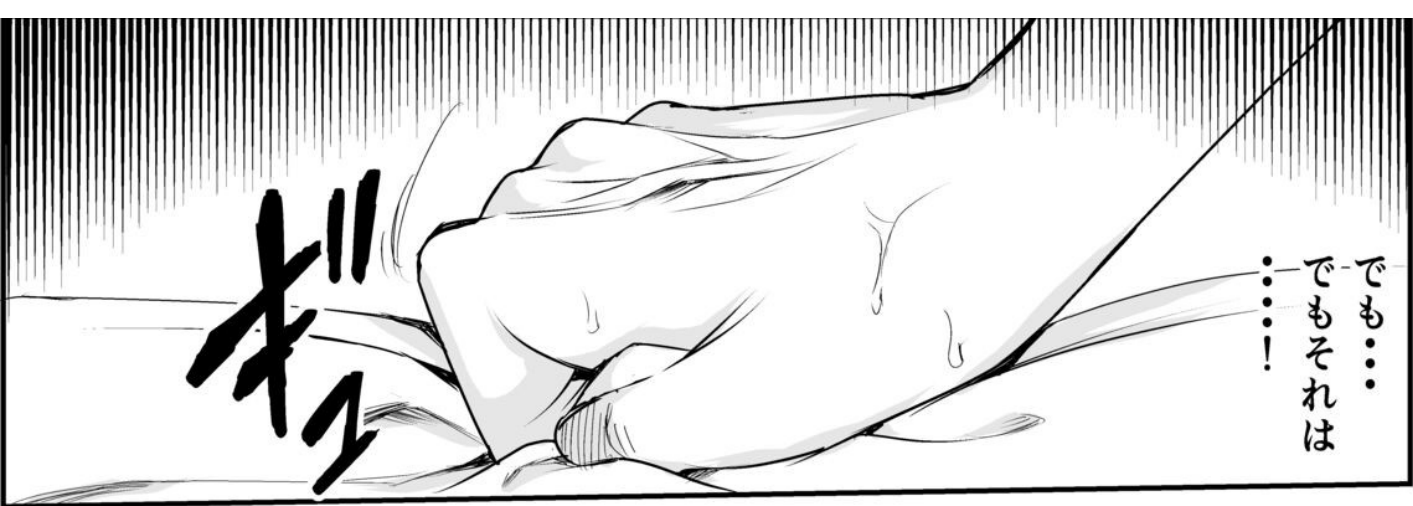


…この村のことは
確かに知りたい

快樂の景色で
あってもそれが
この村特有の
ものなら見て
みたい…



あ：アヤミが
おかしくなって
しまった…



でも……
でもそれは
……!



断る!

アヤミの身を
犠牲にしていい
ものじゃない!



私は……ナオトの
ために……身を
挺して巫女に
までなったのに
……?

は?

どうして……
どうして……
どうして……?



な・何で?





フフフ：やっぱり
：凶星だね？

私は燃えたよ？
ナオトに見られて



もっと見て欲しい
なあナオトには

中出しが癖に
なった私の
騎乗位を...

ちんちん入れた
まま腰は動かさず
長時間キスしまくる
ラブラブエッチとか
...



素直になっ
ちゃえよ！

ナ・オ・ミ
ちゃん



な：何言って
そ：そんなこと
：冗談でも
御免だ！

またまたあ
本当にそう？





アヤミの臭いに
つまれて
心地イイ……!

おかしいのに
狂ってるのに……



アハッこんな
ことされて感じ
てるの? ナオミ!

私の使用済み
制服とソックス
身に着けて
感じるなんて
ドヘンタイじゃん!



はぁぁぁぁ!

女装させられて
恋人に犯されて



イッちゃえ
イッちゃえ!
大丈夫! ちゃんと
見てあげるから!

あ……ああ……
もうダメダメ!
イッ……イッちゃう
イッちゃう!



ブルブルブルブル





アハッすごっ
いーっぱい出た!

無駄撃ち射精
おめでとー
ナ・オ・ミ!



フフフ

あ：そんな：
アヤミに：
イカされ：

お：おし
お尻でええ：





教祖様の快感が
…子宮に…

あ…あ…
来たあ…教祖様あ
また他の女の子と
エッチ…し始めた



子宮に伝わって
来る…っ！



そんなブツとい
もの…!!

今の今まで
入れてたのか!!



何入れてん
だよ…

ま…ま
まさか…

ア…アヤミ?それ
…な…何だよ?





ほら見てえー

アルウ



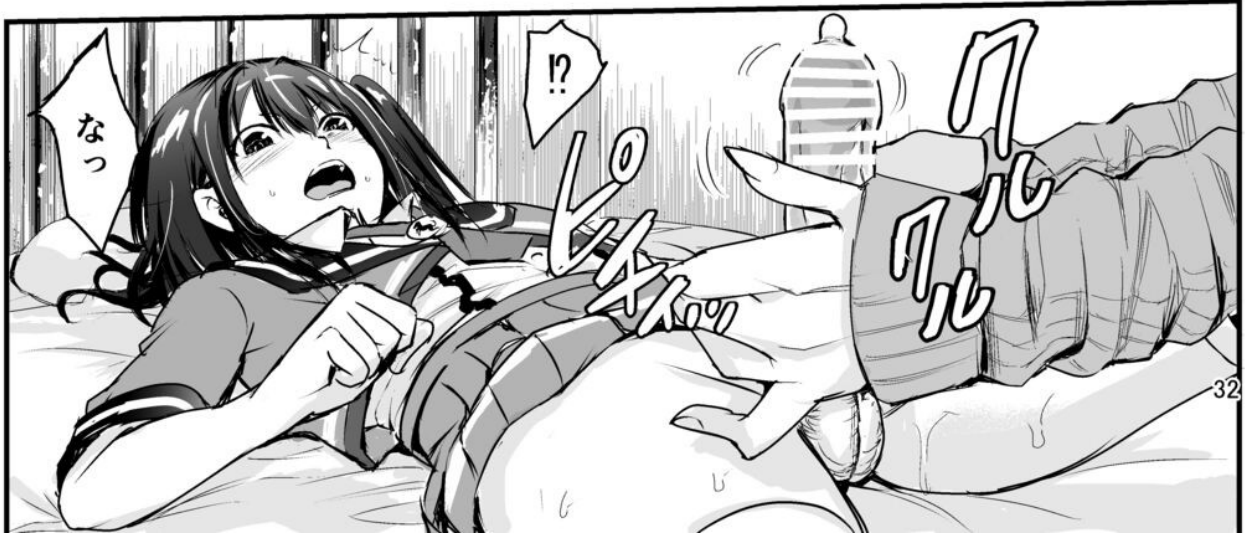
だ…だって教祖様の
せーえき…さつき
出してもらった
ばかりだもん…

完全に栓しないと
出てきちゃう
じゃん？



私のお気に入りに
…教祖様の
おちん〇んと

同じサイズの
…デイルド!





ちよ...ちよっと
待ってアヤミ...!
い...今イッた
ばかり



ま...まどか



!!..

アッハあーやっぱ!
思った通り!



簡単にお尻入っ
ちやっただあー!



う...あああ

な...何だこの
圧迫感...!!



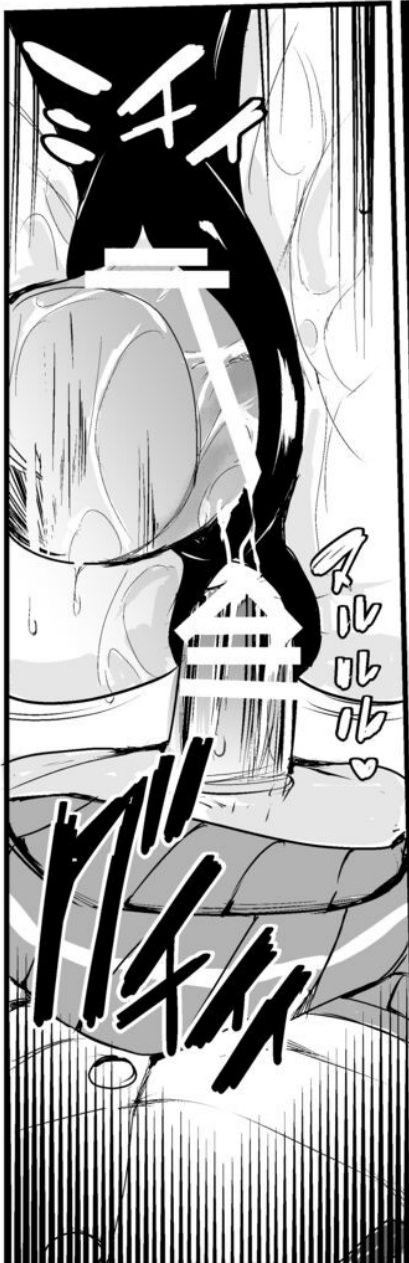
この淫紋が私と教祖様を繋いでくれるの!



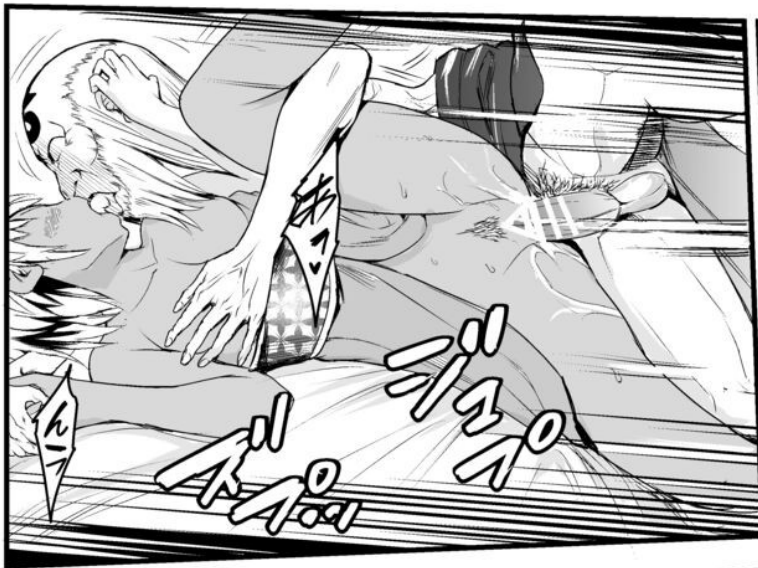
どう? ナオト!
素晴らしいでしょ?

教祖様が他の
女とエッチして
いる時でさえ...

その快感は
私の子宮に
伝わってくる!









教祖の物に
変えられて
いる……



アヤミの身体は
もう完全に……



何に興奮
してんのよ！
ドヘンタイ
ナオミちゃん！

寝取られて
辛いはずなのに
……



おやあー？
またちんちん
膨らんできた？
今更あー？

粗ちんのくせに
どうしちゃったの？

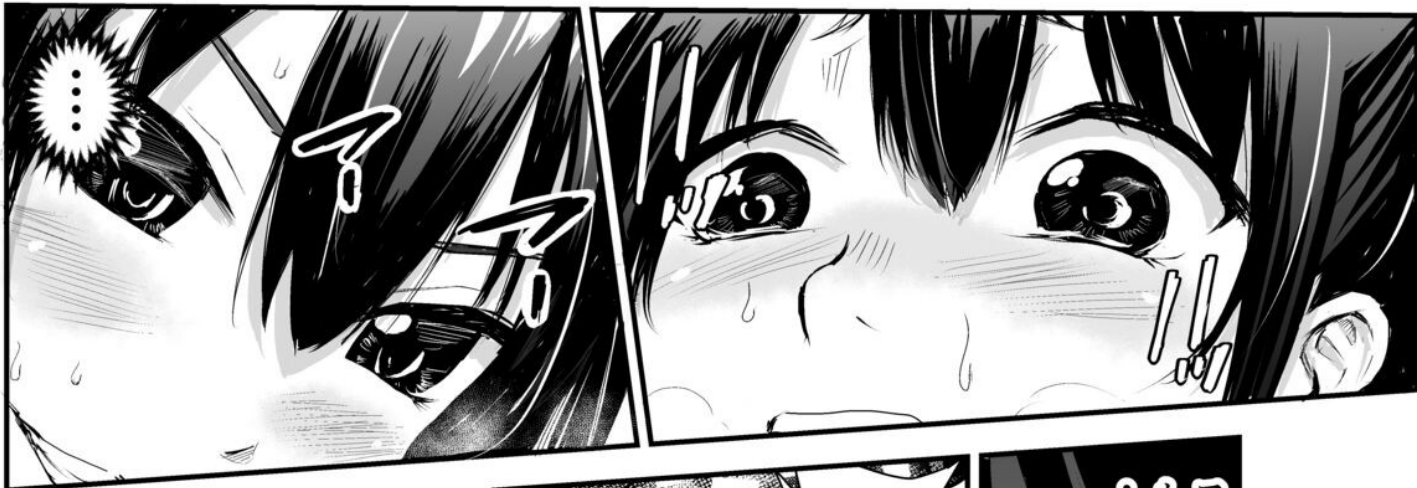


悲しいはずなのに
……なぜか目が
離せなくなる

恐ろしい
くらいに……



アヤミに夢中になつてしまう!



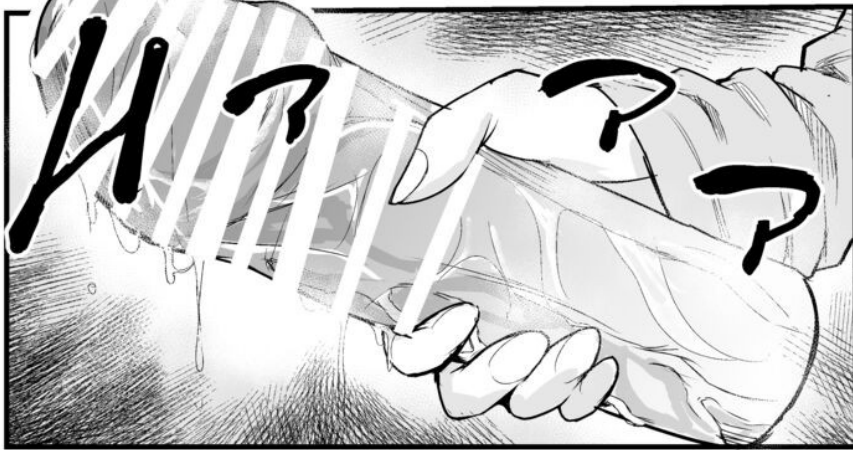
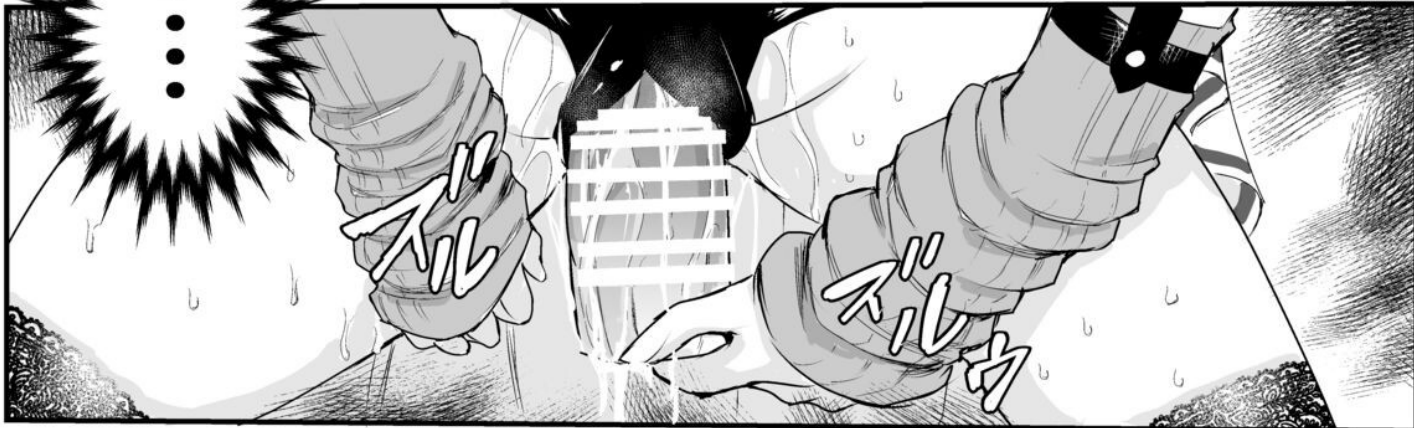
アア気持ちイイもつと見ていたい。アヤミをもつと

ああああ
イツちやうイク
イクイクーッ

私も！私も
イキます！
教祖様と一緒に
イイイイ！

ア・アヤミ・
俺も・イクッ
一緒に・い









実はさ……
ナオトがいれば
教祖様はもっと
おいしい景色が
見られるって
言ってたの

だからさあ

一緒に見ようよ
ナオト!

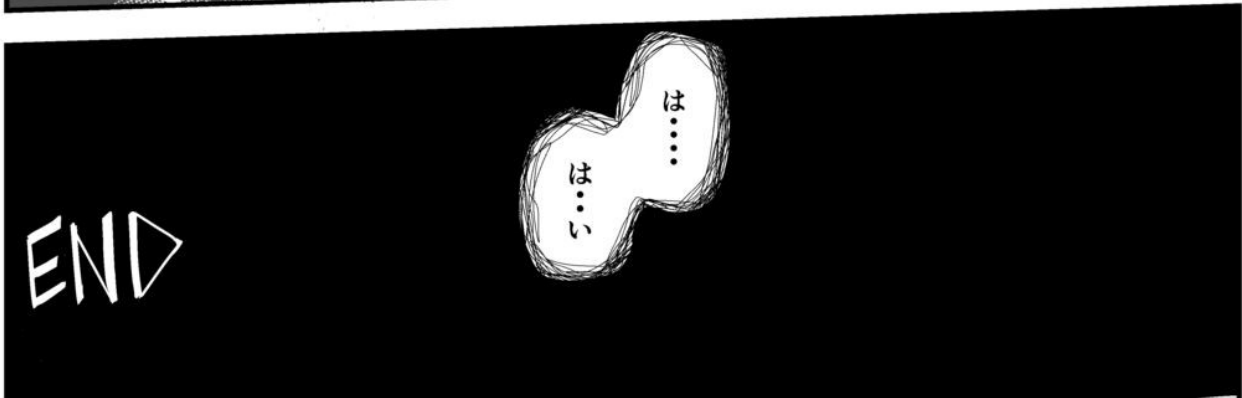


私たちが奏でる
……この村の
景色を……!!

ね!



……



END

は……
は……

あとがき

艶がり村第6話をご購入いただき誠に
ありがとうございます！

まずは締切が若干遅れてしまい申し訳ございません。
昨今のこの業界にピンチなことが続き、その対応で結構時間が
取られたりでした。(言い訳)

今回はナオト視点で、存分にアヤミにいじって
もらうコンセプトで攻めてみました。
物語もいよいよ終盤、毎回前回の自分を超越るものを目指し、
かつ飽きさせないものを心掛けております。
次回は今までで最強の興奮をお届けしたい、
すでに頭の中に構想は出来ているので、
最後まで見届けてくれるとありがたいです。
ではではまた次回お会いしましょうー！

Twitter id:nao3675



Pixiv id:29431100

